

2024年5月14日

泌尿器・副腎・腎移植外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 当院プロトコールでの神経温存ロボット支援前立腺全摘除術(RARP)の治療成績に対する影響

[研究の目的]

当院での神経温存のプロトコールで施行したロボット支援前立腺全摘除術(RARP)が治療成績に対する影響を与えたかどうかを検討することで、当院での前立腺癌診療を検証し、今後の診療に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2017年8月1日から2022年12月31日の間に香川大学医学部附属病院で前立腺癌に対してロボット支援前立腺全摘除術を施行された方

○利用する検体・診療情報

情報：診断名、年齢、身体所見、検査結果[PSA、画像検査(CT、骨シンチグラフィ、MRI)]、前立腺生検病理所見(グリソンスコア、生検本数、陽性本数)、前立腺全摘標本の病理所見、QOL質問票結果

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 助教 土肥洋一郎

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科

担当医師 土肥洋一郎

電話 087-891-2202 FAX 087-891-2203